

2017年6月4日

「千葉氏フォーラム」 於. 千葉商工会議所

美味しく作る、華やかに盛る—中世の調理器具と食器—

国立歴史民俗博物館 村木 二郎

はじめに

古代の食器：土師器・須恵器・黒色土器

中世の食器：漆器・陶磁器・かわらけ



1. 中世の食器

(1) 漆器碗・皿の普及

11世紀 土師器碗の減少・消滅 → 漆器碗の普及

漆器…古代：地の粉漆下地・多層の漆重ね塗り → 漆＝高価、高級品

中世普及漆器：炭粉柿渋下地・1～2層の漆塗り → 安いが耐久性はある

cf 鎌倉産型押漆器…量産向き

(2) 中国産陶磁器の大量輸入：寧波 ⇄ 博多航路

11世紀後半～ 博多から大量の白磁出土（博多遺跡群第14次調査など）

波打ち際の白磁一括廃棄：破損品の選別

12世紀後半～ 青磁＞白磁（地下鉄祇園駅出入り口調査など）

火災による一括廃棄：青磁碗・皿 約300点、国産陶器より多い

新安沈没船 1323年6月、寧波 → 博多、東福寺を主とした造営料唐船

中国産陶磁器 2万点、中国銭 28トン（約800万枚）

(3) 宴会道具としての「かわらけ」：1回きりの使用（清浄な器）、大量消費、一括廃棄

「きよしと見ゆるもの 土器（かはらけ）、新しきかなまり、…」『枕草子』143

10世紀代の京都で成立：かわらけ、折敷、箸

→12世紀中頃 列島規模で拡散…柳之御所遺跡（平泉） 10トン以上

2. 中世の調理器具

(1) 鉄鍋の普及

10世紀代に煮炊具が減少・消滅 → 鉄鍋の普及（腐食・リサイクルで残らない）

11世紀～14世紀前半：各地に鉄鍋生産遺跡 ← 鋳型が出土

(2) 万能の調理器具 搗鉢（すりばち）：砕く・搗る・捏ねる → 粉食文化の成立

12世紀代には列島規模で広域流通（壺・甕・搗鉢の中世的窯業生産体制）

cf 石臼の普及は15世紀以降…山角町・御組長屋遺跡（小田原）